

2025年度 メリー★ポピinz 朝霞東ロルーム 事業計画書

I. 基本方針

子育て理念：「にんげん力。育てます。」

子育て方針：「センス・オブ・ワンダー」 「人対人コミュニケーション」

【私たちが育てる6つの力】

- ①ケガをしない強い体を育てる
- ②自分でできることを自分でする
- ③全ての人との関りから判断・行動を身につける
- ④活動を選択し、自分で考えて行動する
- ⑤生死を知る、食の循環を知る
- ⑥感じたこと・考えたことを表現する

【どろんこ会グループ運営本部Mission2025】

1 基本活動の深い理解

2 畑仕事・生き物の世話・堆肥作りを確実に丁寧に行う

3 「混ざる」その先へ ~健常児も障害児も生きる力を獲得する~

保育室は限られた環境ではあるが、毎日の戸外活動を充実させ、近隣の系列園の畠や園庭を利用することで日々の時間を大切にし、ホンモノの体験と労働を提供していく。

そして家庭や地域の人々と連携を取っていき、子どもの健全な発達を促していく。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもの「生きる力を育む」ために、日課・基本保育活動の実施
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・どろんこ会の基本保育「私たちが育てる6つの力」の理解を深め、全職員で考え実践していく。 ・毎日の日課や生活、遊びの中で積み重ねていく学びや力を育てていく。 ・職員は生活や遊びを通して様々な経験や気付き、学びとして関わる環境を用意する。特別なことを用意するのではなく、保育所保育指針に留意し、遊びが学びの原点となる計画を用意する。商店街ツアーや、近隣園との交流を深め、他者との関わりの中で育まれる。
2	計画・ねらい	必要に応じた丁寧な保育
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修や日々の昼礼等で子どもの育ちを共有し、理解を深め、見極めながら手や声をかけすぎずに丁寧な保育を行っていく。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	保護者的心に入り込んだ接遇を目指した、3分間お迎え対応
---	--------	-----------------------------

	実践予定内容	・一日の子どもの様子を保護者に手に取るように伝え、子どもの成長と共に喜び、悩み合える関係性を築く。 ・複数の保護者がお迎えに来た際でも、自ら満遍なく声をかけ待った気がしない、待たされたと思わせない仕掛け（ポートフォリオや新聞などの掲示）を作つて行く。
2	計画・ねらい	保育参加、個人面談による共育てと子育て相談の充実
	実践予定内容	保育参加、個人面談など気軽に参加できる機会を設けていく、日々の保育内容や保育園での子どもの姿を知つていただく。又、日常の様子や不安など保護者とコミュニケーションをとる有意義な時間とする。
3	計画・ねらい	誰がいつ見ても気持ちがよい施設を目指す
	実践予定内容	保護者や来訪者がいつ見ても、どこを見ても整理整頓されており、気持ちがよい施設となるように、日々の掃除は保育室の隅々まで行う。又、保育で使用した物はそのままにせず、使用後はその都度元の場所へ片づけるよう職員へ意識づけをしていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育（月1回、紙芝居・絵本読み聞かせ等）の充実を図る
	実践予定内容	・地域の方が気軽に足を運んでいただけるよう、活動の内容の充実を図る。
2	計画・ねらい	ちきんえっぐの充実を図る
	実践予定内容	・地域の方も保育園を利用しやすい環境を作り、保育園生活を知ることで子どもの育ちを共有する。ちきんえっぐの取り組み（簡単クッキングや伝承遊び）を通し共育てを実践する。 ・参加したくなるような内容、企画を考え、リピーターが増えるよう参加スタンプカード作成など工夫する。
3	計画・ねらい	地域の子育て支援関係機関等との連携を図る
	実践予定内容	・散歩中や公園等で地域の方に出会つたら、挨拶を交わしたりする事で地域の方に園の存在を知つてもう。園の存在を知つてもらう事で、子育て不安や育児不安になった際に相談できる窓口となると共に、市役所や保健センターとも連携を図れるようにする。 ・小学校、中学校、高等学校が実施する乳幼児とのふれあい交流や保育体験に協力し、次世代育成支援の観点から、将来に向けて地域の子育て力の向上に繋がるような支援をしていく。

〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	学びのアウトプット
	実践予定内容	・MBO目標に自分自身が年間を通して学びたいことを落とし込み、職員自身が主体的な学びを深めていく。 ・園内研修では、職員自らが講師となりアウトプットすることで、教える技術の向上や知識や経験の定着と記憶の整理、自己肯定感の向上に繋げる。
2	計画・ねらい	大人のにんげん力を向上させる

	実践予定内容	・園長大学®・保育士大学・外部研修等に意欲的に参加し、学ぼうとする意識を互いに深め合う。学びたい意欲を汲み取り、研修を受けやすい環境を作る。 ・仲町どろんこ保育園、メリー★ポピングkids朝霞ルーム、メリー★ポピング朝霞南ロルーム、志木どろんこ保育園、メリー★ポピング志木ルーム、メリー★ポピング志木駅前ルーム等の近隣の系列園の園内研修にも参加し、他園の職員と相互に学び合う中で、自園の課題を見つけ解決に向かう力を身に着ける。又、横の繋がりを大切にする。
3	計画・ねらい	業務の効率化・仕事期日厳守
	実践予定内容	・行事計画からの業務の前倒しを進める。期日管理を上手に行い、仕事を追う形を定着させていく。仕事に追われず余裕を持つことで、残業などを減らしていく。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	畑仕事を通じて、野菜の興味関心を育み、育てる喜びや調理する楽しさを味わい、食の循環を体験する
	実践予定内容	・野菜などの栽培や収穫を通して、子どもたちが食べ物は土や雨、太陽の光などによって育つことに気付けるようにする。その為に、様々な食材に触れる機会を計画的に保育に取り入れていく。 ・畑で収穫した野菜を使って、たくあんや切り干し大根、味噌や梅干しづくり等を行い、加工食品を作る体験を行う。
2	計画・ねらい	畑仕事や食育活動を通して「命あるものを食している」ということを子どもたちへ伝えていく
	実践予定内容	毎日運ばれてくる野菜や果物、肉や魚などの食材を日々の生活の中で目に入したり、触れたりする機会を取り入れ、子どもは自らの感覚で食材や食の環境を意識できるようにする。 育てた食材で調理活動を行うことや調理過程の一部を手伝うこと等の体験を通して、調理室における調理の様子をうかがい知ったり、調理師等と一緒に食べたりする経験などを通じて、食材や調理する人への感謝の気持ち、生命を大切にする気持ちなどを育んでいく。
3	計画・ねらい	食の循環サイクルの仕組化
	実践予定内容	・毎日の残食の量を計り、給食の野菜くず等を混ぜて堆肥（コンポスト）を作っていく。できた堆肥を畑の野菜栽培に活用していく。ゴミが減る、環境などに关心を持つきっかけとしていく。（給食残渣を2022年4月1日時点の50%に減らす） ・給食食材（野菜）のカット方法や皮付き野菜を有効活用する。また、調理くずを最大限に活用した給食献立の開発・運用をする。 ・畑仕事や食育活動を通して、食の循環（SDGs）に繋がることを子どもたちへ伝えていく。

〈6〉続・ホンモノに触れる

1	計画・ねらい	日本古来の伝統行事・四季を知り、感じる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統行事や遊びを取り入れ季節を感じ、それぞれの行事の習わしを子どもたちへ伝え、本物に触れる経験となるようにする。(節分、ひな祭り、端午の節句、七夕、お盆、お月見、もちつき見学で杵や臼に触れる、あやとり、こままわし、けん玉、まりつきなど) ・季節の歌、花、草木、生き物、雨、雪、霜柱などその時の季節ではないと経験できない、見ることができないものを五感で感じられるようにする。
2	計画・ねらい	生活に必要な道具の扱い方を知る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な道具（ほうき、ちりとり、シャベル、トング、スポンジ、包丁、ハサミ等）を保育者が使って見せる環境を作って行く。危険なもの（刃物など）は排除するのではなく、距離の取り方を知らせ、身につくようにする。
3	計画・ねらい	火・水・土に触れる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火を使って何かを焼いたり、身体を温めたりと火に触ることで、正しい火の扱い方を知るように導いていく。又、火と関わりながら自然の様々な事象に自ら気づき、考える力を養っていく。 ・水たまりや雨の日散歩、水遊びを通して、水の形の変化・遊び方を子どもたちが自分で考えられるようにする。 ・子どもたちが道具（シャベル、ジョウロなど）と土と水を使って、遊び方や遊び相手を選んだり、土が変化してゆく様子を探求したり、自分で考えてやってみる力が育めるようにする。

〈7〉チーム保育の実践

1	計画・ねらい	職員ひとり一人が園としての目標を共有しながら協働する。
	実践予定内容	<p>職員一人一人が園全体としての目標を共有しながら協働する一つのチームとなって保育に当たるとともに、その質の向上を図っていく。</p> <p>ひとり一人の子どもに向き合うことを基本とし、保育士、調理師、パート職員、経験年数にとらわれることなく、それぞれの専門性を存分に活かし子どもの主体性を引き出せる保育を実践していく。</p>
2	計画・ねらい	日々保育を振り返りながら全職員で情報を共有し、次の保育に繋げていく。
	実践予定内容	保育者同士が互いに協力したり、競ったり、励まし合ったりと刺激しあうことで互いが成長し、保育も充実していけるようにする。

2. 施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
0人	5人	5人	5人	5人	5人	25人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	4人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	2人	補助	0人	調理	0人	事務	0人

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回 120分	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピテンシー、人権チェック（年2回） ・当月の行事計画の成果発表、次月の行事計画発表 ・園内研修
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・食育計画策定 ・食育活動実施内容 ・配膳方法 ・喫食状況（残食の記録簿）確認 ・検食簿指摘事項の改善
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・当月のヒヤリハット、インシデントの分析 ・自園及び系列園で起きた事故のケーススタディと改善策策定 ・全園事故防止委員会での内容共有 ・園内外、散歩ルート、公園内のハザードマップ確認見直しの共有
ケース会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児個別計画の振り返り及び省察 ・要支援児個別計画の見直し

朝礼・昼礼	毎日	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの出席確認、体調の確認、与薬の確認 アレルギー食の確認 活動内容の確認・振り返り 伝達事項
クラス会議 (週会議)	週1回	<ul style="list-style-type: none"> 子ども（個々）の発達 活動内容の振り返り、計画 伝達事項

〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> 連絡及び経営Visionとの接続 運営状況報告
施設長勉強会	月1回	<p>1限：マネジメント・コンプライアンス、業務改善等 2限：各園課題改善計画及び取組成果発表</p>
食育会議	年4回	<ul style="list-style-type: none"> 献立内容の改善、提案 給食提供マニュアル及び運用ルールの作成、見直し 食育計画策定
保健会議	年4回	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策やガイドライン作成、改訂等 保険系策策定
子育ての質を上げる会議	月1回	<p>1限：マネジメント・コンプライアンス、業務改善等 2限：各園課題改善計画及び取組成果発表、ディスカッション</p>

〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の衛生管理や備品の管理、衛生点検、感染症発生時の対応、検便
安全対策係	避難訓練の実施や安全な環境整備、事故防止点検、設備点検
防火管理者	消防計画の作成、避難訓練計画の立案、設備の防火管理
食品衛生責任者	食品の衛生管理、調理室の衛生管理、給食会議の開催、衛生点検
畠・生き物係	畠の管理・作物の植え付け、収穫の確認、生き物の飼育管理
写真係	個人情報の確認・写真販売・卒園アルバム写真整理

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	どろんこ祭りの企画・立案・計画、地域・各関係機関への周知
朝霞市 彩夏祭係	地域活動の一環として有志の保護者の補助
子育て支援係	子育て支援活動・子育てサロンの計画と立案など

4. 保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 1～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの生活のリズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。 安全な環境を整え、探索行動が活発にできるようにする。 行動範囲を広げ歩行や言葉の獲得が得られ、色々な物に興味を持ち、遊ぶ楽しさを知る。 身近な動植物に親しみ、関心や愛情が持てるようにする。 生活に必要な言葉が次第にわかり、簡単な喃語や言葉を使って自分の意思を伝えようとする。
	下半期 1歳児	<ul style="list-style-type: none"> 食事、排泄、着脱などの活動を通して、自分でしようとする気持ちの芽生えを促す。 探索活動が盛んに行えるような環境設定を考慮し、子どもたちが生き生きと遊びを楽しめるようにする。 身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友だちと関わって遊び、見立て遊びやつもり遊びを楽しむ。
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 自分でできることに喜びを持ちながら、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣を次第に身につける。 友だちと一緒に食事をしたり、様々な食べ物を食べる楽しさを味わったりするようにする。 人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。 友だちとの関わりの中でそれぞれが自分の力を発揮して活動に取り組む。 いろいろな体験を通して、五感が刺激され豊かな感性や創造性が育まれる。
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣がほぼ身につき、一人でも出来る様になり出来ない所は友だち同士で助け合ったり出来るようにする。 友だちといふ楽しさや心地よさを感じ、一人ひとりの思いや考えが互いに受け入れられ、毎日の生活そのものに充実感を

		<p>味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちへの親しみや思いやりを深めながら、人の役に立つことに喜びを感じ、協力して取り組もうとする ・身近な動植物や自然に関心を持ち、その大きさ、美しさ、不思議さに気づく。
保育参加	4~3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

〈2〉年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉給食・食育運営方針

	計画・ねらい	調理員・保育士・施設長は子どもと一緒に食べる
	実践予定内容	<p>調理員・保育士・施設長は、子どもと一緒に食卓につき、子どもたちの食べっぷりを確認しながら、家族同様にコミュニケーションを深める。</p> <p>食事の下ごしらえを調理員や保育士と行うことで、野菜や食への関心を深め、知識を得る。</p> <p>クッキング活動の中で季節の食材に触れ、伝統行事のメニューを知る。</p>
2	計画・ねらい	噛む力を育て素材の味を味わえる状態で提供する
	実践予定内容	<p>それぞれの食材を十分に味わえるように、味が混ざりやすい料理は器を分けるなどの配慮をし、温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たい状態で提供する。</p> <p>子どもたちが育てた食材や季節の食材を使用し、子どもたちの噛む力を育て、素材の味を味わうことができる状態に調理して提供する。</p>
3	計画・ねらい	子どもが自分たちで盛付・配膳して食べる
	実践予定内容	<p>子ども一人ひとりの個人差や活動量などに応じて盛付量を加減できるように工夫し、おかわりができるように提供する。</p> <p>調理員・保育士・施設長は、子どもが人と関わる力を育て、子どもが自分でできる事を自分でするなど、子どもの意欲を育てる食事環境を設定する。</p>

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い・うがい指導、歯磨き指導、トイレの使い方指導、衣服の調節、性教育（5歳児）
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 6月頃…手足口病、ヘルパンギーナ 7月頃…アデノウイルス、プール熱、ヒトメタニユーモウイルス、 とびひ 10月頃…マイコプラズマ肺炎、RSウイルス 11月頃…ノロウイルス、ロタウイルス 12月頃…溶連菌感染症、水痘 1月頃…インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…1名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在7名が研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については4月末日までに受講予定
その他保健に関する取組	流行しやすい病気の掲示、予防接種の確認、薄着の励行、嘔吐物の処理の仕方、おむつ交換手順、与薬ルールについて保育品質マニュアルに則り確認とロールプレイ ※新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月

	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	フロン点検（簡易）	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	足指で地面を捉える力を育てる
	実践予定内容	歩く・走る・跳ぶ・とび降りる・よじ登る・横や後ろに動くなどの運動感覚を育てるために、裸足保育を実践する。そのために保育室内や戸外（園庭・公園）の設備・安全点検を行う。 転んでも自分の身体を支えることが出来る徒手力を身に着けるために、又、自分の暮らす場所を自分できれいにするために、雑巾絞り、雑巾がけを毎日子どもと保育士が一緒に行う。
2	計画・ねらい	子どもの「やってみたい」意欲を大切に、環境を整えていく
	実践予定内容	見てわかりやすい配置、興味を惹く設定など五感への働きかけを意識する。又、戸外では安全配慮をはじめ、子どもが遊びたい場所、遊びたい物を見つけられるように公園の行き先や活動内容を充実させる。保育室内は整理整頓し清潔に保つことを心掛ける。
3	計画・ねらい	子どもが人と関わる力を育てる
	実践予定内容	同年齢の子ども同士の関係、異年齢の子どもとの関係、保育士等との関係や地域の様々な人との関わりの中で、子どもは様々な感情や欲求を持ち、関わりを深めたり、他の人へ関心を広げたりしながら、人と関わる力を育んでいく。そのために、複数の友だちと遊べる遊具やコーナーなどを設定するとともに、物の配置や子どもの動線などに

		配慮する。子どもが人とのやり取りを楽しみ、子ども相互の関わりや周囲の大人との関わりが自然と促されるような環境を整えていく。
--	--	---

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	手作り玩具なし		

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	【防災】…危機管理マニュアルNo.3の災害対策に則り、消防計画、避難訓練、避難訓練開催通知、自衛消防訓練通知、普通救命救急資格取得手続き、防災自主点検、危機管理マニュアルの周知、自衛消防組織と安全対策係の設置、緊急地震速報運用を行う。また、定期的に非常持ち出し品、非常備蓄品、防災準備品の点検を行う。災害発生時には対応フローチャートに従う。
2	実践予定内容	【ケガ事故防止】…危機管理マニュアルNo.3のケガ事故防止・安全点検と保全に則り、事故防止チェックおよび設備点検チェックの実施、AEDの点検と訓練、安全教育、SIDS防止策、与薬ミス防止策を徹底する。ケガ事故防止のための保育士行動基準を基に室内や戸外での危機管理について職員間で学ぶ。ケガ事故発生時には対応フローチャートに従う。
3	実践予定内容	【防犯】…危機管理マニュアルNo.3の不審者対策に則り、不審者侵入訓練の実施、笛の携帯、代理送迎者の把握、不審者情報の収集と共有を行い、不審者対策はフローチャートに従う。
4	実践予定内容	【光化学スモッグ】…危機管理マニュアルNo.3の光化学スモッグに則り、光化学スモッグの知識を身に付け、注意報発令の把握を行いながら、発生時には光化学スモッグ発生時対応及び行政連絡に従って対応する。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度方針・テーマ

次の世代を担う人材として、保育や福祉に興味関心を持ってもらえるように、積極的に中高生の職場体験、大学や専門学校の保育実習の受け入れを行う。ボランティアや実習生を受け入れることで子どもたちが様々な人と関わる機会が増え、地域交流の機会のきっかけに繋げていく。また、職員も自らを振り返る機会にもなるので、大事にしていく。

1	実践予定内容	中高生の職場体験学習
2	実践予定内容	保育養成校の保育実習
3	実践予定内容	一般及び学生の各種ボランティア

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉 2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月11日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育運営マニュアルの確認 ③ 人権チェック・虐待防止 ④ 怪我ケーススタディ	コンピテンシーについて深め、極める 保育運営マニュアルの理解① 子どもの人権について考える 怪我の事例から、知識を身に付ける
5月 9日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育運営マニュアルの確認 ③ 日課について	コンピテンシーについて深め、極める 保育運営マニュアルの理解② 日課の大切さと意味について
6月13日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② プールの安全管理 ③ 保育環境の設定	コンピテンシーについて深め、極める 水の事故・心肺蘇生について学ぶ 環境設定について
7月11日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保護者対応、接遇 ③ リズム体操研修	コンピテンシーについて深め、極める 保護者対応、育ちを伝える方法を学ぶ リズム体操のポイントについて実践
8月 8日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 10の姿の理解	コンピテンシーについて深め、極める 10の姿の理解を深める
9月12日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの観察	コンピテンシーについて深め、極める 子どもの姿を観察して共有する
10月10日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 人権チェック・虐待防止	コンピテンシーについて深め、極める 不適切保育について考える
11月14日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 嘔吐処理対応、感染症	コンピテンシーについて深め、極める 正しい嘔吐処理方法を身に付ける
12月12日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② アンガーマネジメント	コンピテンシーについて深め、極める 怒りをコントロールするスキルを磨く
1月 9日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 事業計画書の振り返り	コンピテンシーについて深め、極める 事業計画書の振り返り

2月20日	18:00～21:00	策定会議①	事業計画のポイント、園目標決定
3月 1日	9:00～18:00	策定会議②	年間計画策定会議・畠づくり研修

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デノマークインターンシップ	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

子どもたち、職員は地域の一員であることを理解し、園全体として地域に根付くことを意識していく。地域で地域の子育てをして、地域の目で見守っていく事が出来るように、園の存在を認識してもらえるようにしていく。また、地域の子育ての拠点となれるようにしていく。

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細	
どろんこ祭り	年1回	集客目標：50名
青空保育（保育園主催）	月1回	公園名：根岸台6丁目児童遊園地にて 集客目標：20名
商店街ツアーア	週1回	
世代間交流	高齢者福祉施設訪問 中高生の職場体験、ボランティアの受け入れ	
異年齢交流	近隣保育園や施設との交流	
地域拠点活動	青空保育、自然食堂、芸術学校、自然学校、寺親屋、どろんこ祭り	
銭湯でお風呂の日	月1回	〈3～5歳児〉

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

- ・職員や5歳児が小学校を訪問し互いの情報を共有し、不安なく就学できるようにする。
- ・5歳児が小学校を訪問し、様子を知る事で少しでも不安なく就学できるようにすると共に保育園と小学校との情報を共有し、連携を図っていく。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を5月より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
9月頃	朝霞市立第八小学校	5名予定	運動会見学（校庭）	子ども間交流
1月頃	朝霞市幼保小連絡会	職員2名予定	小学校の教師と面談	職員間交流
1月頃	朝霞市立第八小学校	5名予定	学校見学	子ども間交流

- ・5歳児と小学校1年生との年間連携計画および報告書・アプローチカリキュラムを作成、実施
- ・小学校との交流活動（保育園行事等の案内状の送付、小学校見学、公開授業や運動会未就児プログラムへの参加）
- ・教職員の交流活動（幼保小連絡会議への参加）
- ・小学校への接続（保育所児童保育要録送付、園児情報の申し送り面談の依頼と実施）
- ・卒園児台帳の作成

I 0. 要支援児計画

該当園児が在籍した場合、以下の通りに実施します

〈1〉 個別支援計画の作成・見直し

子どもの状況に応じた保育を行う観点から、家庭や関係機関と連携した支援の為の個別支援計画を作成する。

〈2〉 毎月のケース会議開催

(4~3月に計12回開催予定 参加者：8名予定)

計画・実施状況・結果などの振り返りを行い、個別支援計画の赤入れ等も行う。

〈3〉 進級引継、および、小学校への引継

- ・進級への引き継ぎは、児童の個別記録を見ながら現在の子どもの様子を共有する。
- ・小学校への引き継ぎは、各進学予定小学校と連絡を取り合い、日程を決め、必要事項をまとめて直接面談して伝える。

I 1. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細	
園開放	(月) ~ (土) 9:30~16:30	集客目標：10名
子育て相談	(月) ~ (土) 13:00~16:30	集客目標：5名
自然食堂…親子ランチ交流	月2回 10:00~12:00	集客目標：20名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	月1回 10:00~12:00	集客目標：10名
勝手籠設置	(月) ~ (土) 7:00~20:00	
ちきんえっぐだより	毎月1日発行	
青空保育（支援センター主催）	月1回 公園名：根岸台6丁目児童遊園地にて	集客目標：20名

I 2. 園運営の向上

〈1〉 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

〈2〉園による自己評価の実施

2025年10月1日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：8時30分

自己評価終了予定時刻：17時30分

自己評価実施予定者：施設長、当日出勤職員

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

Ⅰ 3.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	<p>「子ども自らが選択しやってみる」主体的な保育の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自発的・意欲的に関われるような環境、様々な経験を積んでいくことができるような環境を用意していく。その中で子どもの主体的な活動や子どもの相互のかかわりを大切にしていく。 保育者自身は、自分の意志や判断に基づき責任を持って行動できるようになる（保育者も主体性）。
	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修の中で、子どもが遊びこめる環境設定についてディスカッションを重ね、その時期の子どもの発達や興味あることを共有しながら環境を整えることができた。保育室内の環境設定には力を入れることができたが、戸外活動での環境設定についての話し合いや少なかったので、次年度は戸外活動でも「子どもが遊びこめる環境」をつくれるように取り組んでいきたい。 今年度は、毎月の園内研修で職員が講師となり、自分の知っている知識や得意分野をアウトプットすることで、保育の質の向上にも繋がった。

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	日課・基本活動にこだわりをもって取り組む
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修等を通して、日課・基本活動についてのねらいや意味を学び理解を深める。 <ul style="list-style-type: none"> 「子どもが自己選択すべきこと」「大人が教えねばならぬこと」を理解し、大人が一定の距離を取り見守り、道具の扱い方・遊び・うた・危険なものとの距離の取り方などは大人が教え、必要に応じて背中を見せ一緒に歩く生活力を育していく。大人が子どもに背中を見せ、日課を継続する。 定期的な話し合いのなかで、子どもの発達に合った遊びこめる室内環境設定をつくる。

		・保護者や園を訪れた方が、美観、接遇対応とともに気持ちよさを感じ、園に対して信頼を抱いていただける施設となる。
2026年度	目指す姿	豊かな学びと育ちを育む施設になる。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが豊かな体験を積み重ね、十分に自己を発揮できる環境を整える。 ・スタッフが一人ひとりやりがいをもって協働し、働きやすい環境を整える。 ・地域の人が気軽に園を訪れ、情報交換ができる場を作る。
2027年度	目指す姿	地域に選ばれる園作り
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に園の存在を知って頂けるよう、子育て支援活動を展開していく。そのため、職員の保育の質の向上、施設の安全管理の徹底、美化に努めていく。 ・在園のご家庭だけでなく、卒園児や地域の方が気軽に立ち寄れる施設となる。

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ 朝霞東ルーム 施設長 中村 智美